

Country Side A

■住 所：〒939-1654
南砺市福光栄町1036-2 パークサイドアベニュー栄町
■発 行：自民党議員会 武田慎一
TEL (0763) 52-2120 FAX (0763) 52-0009

24時間365日ホットライン
090-3760-0106
(悩み・不安・痛み・苦しみなど何でも相談)

090-3760-0106



HP <http://www.t-shinichi.com/> E-mail:shin_3000jp@yahoo.co.jp

尚この県政通信は「たけだ慎一」のホームページでも見る事が出来ます

たけだ慎一は提言します！ 「地方に生活の拠点を！ 東京一極集中是正！」

北陸新幹線の利用支援等により利便性を向上!
東京ー富山間のビジネスやリモート・テレワークを推進!

- ・乗車料金または定期券の半額割引の更なる延長・拡充
 - ・県による割引料金の一部負担
 - ・週1往復利用定期券など県とJRとの協定で更なる利便性を

※富山-東京間の3か月定期乗車券代は約89万円。
JR西日本とJR東日本で扱いが分かれ(富山-上越妙高)と(上越妙高-東京)の
2枚の定期乗車券を持つことになる。



9月14日 一般質問にて

さて、9月定例会において一般質問をさせていただきました。中身的には活力ある農業、新型コロナウイルス感染症対策、神社仏閣の維持、交通の維持確保・活性化、県内病院の再編です。特に取り上げた私の政策は東京一極集中是正です。今までに、リモート会議やテレワークの導入が進み必要な時に東京へ出社等ができる環境が整つてきました。その事により、あんちゃんや、おっちゃんも回帰意識の高い富山県人は親の介護、江渡い、農業、祭りの参加など故郷にとつて必要不可欠な分野に参画できるというものです。市県民税は地元に歳入として繰り入れられますし、地元の様々な活力にも繋がります。そこで、知事にはJRと協定を結んでいただき、月4回定期券約8万円（往復分）程度の販売にて通勤していただくことを提言させていただきました。加えて政府が積極的に進めることになれば、一層の加速化が見込めると思っています。

武田慎一は今後とも県民日線、政策より一層の努力精進をして参ります。今後ともご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

富山県議会議員

武田慎一

東京一極集中是正と北陸新幹線活用の提言

春先からの新型コロナウイルス流行もあって、リモート会議・テレワークの導入、押印の決裁など業務のデジタル化がにわかに進行し、必要な時にのみ出社するワーカスタイルが見えてきました。例えば東京の企業に勤めながら富山県内に生活の拠点を置いて介護や子育てに取組み、地元の行事や農業に活躍していくたくとも現実味を帯びております。ひいては東京一極集中のは正と、勤労世代の地元回帰と定住によって地域活力の復活にもつながりますが、この生活スタイルが普及するには公共交通の維持確保と活性化がこれまで以上に重要となります。

東京から富山への新幹線通勤利用を促進するため、JRに対しても乗車料金また定期券の半額割引の更なる延長・拡充を求めてはどうかと考えます。県は割引料金の一部負担やJRと協定を結び、それによつて利便性がより向上し、さらには農泊・オーベルジュ・ベットアンドクラフトといった富山の地域性を活かした業種を呼び水として、適当な適切な過疎「過疎」に選ばれる「富山モデル」となる事が期待で

きます。

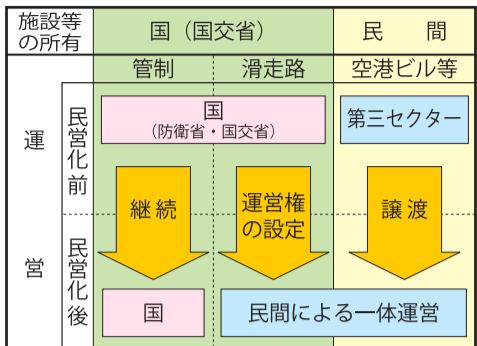
|| 御挨拶 ||

田頃より、お世話になつております。感謝いたします。

9月定例会も終わりWithコロナ時期に入りました。これ以上感染拡大が無いよう祈るばかりです。

富山空港民営化

例) 小松空港における空港経営改革の概要



南砺市建設業協会 得能会長と

北陸新幹線開業後、東京方面への移動時間や料金が真っ向から競合することになった富山空港ですが、現状では羽田便が一日4便維持がやっとの状況で、近年の收支状況は7~8億円の歳出に対して約3億円の歳入しかありません。さらに感染症の影響により国際便も運休中であり、着陸料や施設利用料の減少は必至です。施設内の飲食店も撤退や休業を余儀なくされています。この先富山空港の利便性を確保し続けるには、施設の効率的活用による魅力・活力を向上させるため、民間手法を盛り込んだ取組みの強化が必要と考えます。



10月7日
どんぐり保育園の園児とサツマイモ掘り
このふれあいが、地域の将来!!

10月5日に農業振興について、次
の要望をお願いして参りました。

- ①南砺市のほ場整備促進
- ②スマート農業導入の推進
- ③酒米余剰に対する支援

野上浩太郎農林水産大臣からは「しっかりと事業を推進していく」とのお言葉をいただきました。

国策としてスマート農業が進められようとしていますが、農機の自動化はレベル3まで届いていないのが現状です。ほ場の大規模化、大区画化をすることにより機械の大型化、人の省力化が一番に図られます。中山間地域においてもスマート農業をモデル的に導入・実証するほ場を選定し、効果的・効率的な取組みを進めるべきです。

野上浩太郎農林水産大臣への要望

10月5日に農業振興について、次の要望をお願いして参りました。

南砺市においては統合された福光庁舎前の踏切改良の必要性を指摘された福光庁舎前の踏切



酒米の刈り取りを通して、
産地を守る取り組みに決意!

国土交通省は現在までに45都道府県で計千百八十カ所を改良が必

要な踏切として指定し、鉄道会社と自治体に対策をとるよう義務付けました。指定は改正踏切道改良促進法に基づくもので、車道や歩道が狭いなど危険性が高い箇所が対象となっています。

県内では「通学路のための安全確保が必要」が8カ所、「地域の実情を考慮し事故防止や交通円滑化の必要性が高い」が10カ所、「歩道が狭い」が2カ所の計20カ所となってます。また指定された踏切は踏切内の歩道拡幅、歩道橋の設置、踏切内の車道と歩道を色分けするカラー舗装といった対策を取らなくてはいけないことになっています。

しかししながら最近の社会情勢の変化から、新しい道路の建設や車両の大型化、自転車通勤の増加、踏切付近に市町村庁舎や高齢者施設が立地するなどした状況が増えてます。そうした現状の変化によつて踏切の統廃合が生じる場合には地元からの十分な意見聴取や鉄道事業者との調整を行う必要

があります。



9月18日・24日
予算特別委員長として委員会運営に取り組み各委員の質問を伺い大変勉強になりました。個々人の様々な政策や思いは大切なものです。そしてまた応援をしていく気持ちが大切です。



10月17日 南砺サイクリツーリズムに向け試走。成功を目指して頑張ります。

自転車で南砺市巡りツアーリ

南砺市観光協会が自転車を観光促進につなげる「南砺サイクリツーリズム研究会」を設立しました。僭越ながら私は座長に選出され、10月17日にはJR城端駅を発着点に福光地域など約30キロを走るモニターツアーリを行いました。自転車を活かしたまちづくりや新たな観光スタイルの確立は地方を元気にし、地方創世の可能性を秘めています。是非とも根付かせたいと考えています。

国土交通省は現在までに45都道府県で計千百八十カ所を改良が必
要な踏切として指定し、鉄道会社と自治体に対策をとるよう義務付けました。指定は改正踏切道改良促進法に基づくもので、車道や歩道が狭いなど危険性が高い箇所が対象となっています。

県内では「通学路のための安全確保が必要」が8カ所、「地域の実情を考慮し事故防止や交通円滑化の必要性が高い」が10カ所、「歩道が狭い」が2カ所の計20カ所となってます。また指定された踏切は踏切内の歩道拡幅、歩道橋の設置、踏切内の車道と歩道を色分けするカラー舗装といった対策を取らなくてはいけないことになつて

県内の踏切改良指定について